

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	衣料品専門店 （営業・販売担 当）	販売量の動き	・新商品の販売量、売上が毎月増加している。
		通信会社（経営 者）	お客様の様子	・不動産業界のクライアントでは、これからの繁忙期に向けて設備投資が順調である。
		通信会社（社 員）	お客様の様子	・年末商戦に向けて、チラシによる宣伝や代理店での営業展開を強化しているが、客の反応が良くなってきている。
	やや良く なっている	一般小売店 〔酒〕（経営 者）	来客数の動き	・9月末にグルメ情報誌に大きく取り上げられたため、新規の来客が増えてきている。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・優良顧客に対して、イベント性があり、おもてなしの仕掛けを持った催しを全店で開催したが、期待以上の売上があった。
		スーパー（経営 者）	単価の動き	・度重なる台風の影響で、生鮮品の相場が急騰し、農産物が徐々に大きく売上を伸ばしている。また、サラダ類や和風惣菜なども、野菜を買わず出来合いのものを買って、出費を抑えようとする消費者心理により大きく伸び、売上全体を引き上げている。
		家電量販店（店 長）	来客数の動き	・価格に重点を置いている客でも、より高付加価値の商品を選択する傾向が強くなってきている。客単価は前年比105%、来客数は110%の伸びであった。
		乗用車販売店 （営業担当）	お客様の様子	・新型車が多く出ていることもあるが、家族での来店が増えている。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・客単価は前年よりも5%以上下がっている状況であるものの、10、11月は年間でも一番好調なシーズンということもあり、来客数はほぼ前年並みになりそうである。
		タクシー運転手	お客様の様子	・昼勤務の流し営業で、客の乗車機会は確実に増加し、安定傾向にある。また繁華街付近のシティホテルの客の乗り込みも、距離を問わず順調に回復し、時間当たりの回転率が改善している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の話を聞くと、人員整理などは一段落して残業などが増えているということで、遅い時間でも利用者がある。夜の街のイベント等もあり、利用者が多い。
		その他レジャー 施設〔イベント ホール〕（職 員）	販売量の動き	・今月は各種コンサートや恒例の物品販売会、さらにバラエティーに富んだ単発の催事が多く入っていて、様々な客層が多数来たことで、とてもにぎわった。
		その他サービス 〔ビデオ・CD レンタル〕（エ リア担当）	販売量の動き	・今月は在宅時間が増えたようで、レンタル需要がアップした。
		住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・当社の販売物件の近くで、新規に販売を開始した物件があるが、当社の物件より販売単価が高かった。ただし、その後続く物件がないため、上昇局面にあるかどうかは分からない。
住宅販売会社 （従業員）	競争相手の様子	・収益物件、事業用地の購入意欲が非常に高く、収益物件では利回りが低下し、事業用地では土地価格が上昇している。		
その他住宅〔情 報誌〕（編集 者）	来客数の動き	・新築マンションの購入動向が9月以降上向きに推移しており、各現場での集客数が昨年を上回っている。		
変わらない	一般小売店〔衣 服〕（経営者）	来客数の動き	・アパレル関係の小売店では良いところがなく、関東の球団の優勝セールを含めて、特別催事等がすべてダウンとなった。	
	一般小売店〔文 具〕（経営者）	来客数の動き	・台風、新潟県中越地震と気分的にも重い雰囲気であり、会話も自然とそちらに向かう。また、来客数の盛り返しにも力がない。	
	一般小売店〔家 具〕（経営者）	販売量の動き	・新潟県中越地震や台風などの天災が多いため、客の心理状態は不安定になっている。	
	一般小売店〔衣 服〕（経営者）	お客様の様子	・天候不順により秋物の立ち上がりが悪かった。	

一般小売店〔衣服〕（経営者）	それ以外	・以前は114件の商店があり、活気のある商店街であったが、近隣に大型スーパーが出店して売上が急減し、閉店する店舗が増えた。
一般小売店〔野菜〕（店長）	販売量の動き	・今月は特に野菜の値段が高騰したため、余計に買い控えが増えた。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・毎日の来客数の増減はあまり感じられず、売場全体の売上は前年より若干の減少傾向であるが、特に買い控えしているというよりも、他店に顧客が流れた分だけ減少していることが数値上も明らかである。同じ市内の同業他社との比較でも、当店より売上が減少傾向にある店と、増加傾向にある店とに明確に分かれており、増減をまとめると前年と同じ水準となる。
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・今月は台風の影響が大きく、来客数が大幅に減少した。売上は不振であるが、平月の来客数は前年の大型商業施設による開店景気の影響を取り除けばまずまずである。
百貨店（売場主任）	販売量の動き	・天候不順で来客数、販売量が減少しているほか、ギフト関係については、内祝いなどのお祝い需要が少し鈍っている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は従来不調であったスーツ、ガウン、子供用品等のアイテムで一部回復傾向がみられた。その一方で、紳士、子供向けとも衣料関連を中心に全体的に不調であった。特に暖かったことや台風の影響で、来客数、客単価が悪化した。
百貨店（統括）	販売量の動き	・上旬の台風のため前年比が大きく落ち込んでいるが、その部分を除くと、ほぼ3か月前と同じ状況で推移している。
百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・台風や新潟県中越地震の自然災害や異常気象により、秋物婦人服衣料は前年比20%減と不振で、消費の上昇増加の勢いは半減しているように感じる。しかし、恒例の北海道物産の催事は相変わらず好調に推移しており、食料品部門は前年並みを維持している。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・客が競合店の広告をみたり、また生鮮食品に関しては値段を調べて店を何度も行ったり来たりして、当社の方が安く値打ちのある商品しか買わないという、非常に厳しい状況である。
スーパー（経理担当）	それ以外	・4月からの消費税総額表示の影響は今月に入って少し和らいできた感がある。しかし、売上の規模が拡大されているわけではない。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・今月も予定売上高を上回り、好調に推移した。相場高の野菜を始め、気温の低下から衣料品の動きも好調である。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・客の年齢層が低くなっているため、客単価が低くなってきた。
家電量販店（企画担当）	単価の動き	・夏物商戦のエアコン、オリンピック効果等の反動のほか、度重なる台風の上陸で天候も悪かったことから、売上がなかなか回復しない。また、単価の高い薄型テレビ、パソコンなどの単価が上がっていない。
家電量販店（経理担当）	販売量の動き	・販売額からみると夏季商戦の反動から落ち込んではいないが、例年と同様の動きであり、業界とも同水準の動きとなっている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・台風や新潟県中越地震の影響で、小売業全体に影響が出ている。
自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・賞与月を2か月後に控えた月でもあるので、引き続き顧客の消費意欲は弱い。特に今月は台風等の天候の影響もあり、客単価が横ばいで来客数も減っている。さらに、ボーナスセールを待った買い控えが顕著であるほか、目的買いのみで購買意欲が弱く、横への広がりがない。
その他専門店〔医薬品〕（店員）	来客数の動き	・今月は健康食品等の新製品の発売もあり、来客数は以前より若干伸びているが、販売単価は伸び悩んでいる。
スナック（経営者）	単価の動き	・客の様子から、仕事上の接待が減少しており、家族や友人と和やかに過ごす傾向がみられる。以前のように金曜日でなく、土曜日に客が集中している。
観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・台風や新潟県中越地震の影響もあると思われるが、来客数の動きが今年前半より低調になっている。

	都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・宴会部門では若干台風の影響もあったが、宿泊部門でカバーした。しかし下期に入って、企業部門の会場利用について値引き要請が厳しくなってきた感がある。
	都市型ホテル (役員)	それ以外	・8月、9月と2か月連続してホテル全体の収入が前年割れの状況にあったが、今月は料飲部門等で台風によるキャンセルがあったものの、店舗の改装等の効果が現れるなど、ホテル全体でも7月以来3か月ぶりに前年の収入を上回ることができそうである。
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・台風によるキャンセルがこれだけ多いと厳しい。
	タクシー運転手	お客様の様子	・依然として乗客数は変わらない。客の様子をみていると、飲みに行っても早く切り上げている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・大阪ではタクシーの増車が約2千台あるなど、状況としてはやや悪い。
	遊園地(経営者)	来客数の動き	・家族連れのお客は多少増加しているが、若年層が減少しているため、あまり変化はない。
	その他レジャー施設[飲食・物販系滞在型施設](企画担当)	単価の動き	・販促の仕掛けに反応するだけの購買力はあるが、販売の絶対量がなかなか増えない。
	住宅販売会社(総務担当)	販売量の動き	・度重なる台風で既存客への対応に追われ、十分な動きができていないため、今月は契約量が減少している。
やや悪くなっている	一般小売店[時計](経営者)	販売量の動き	・男女とも年齢を問わず、相次ぐ大型の台風や新潟県中越地震の話をしている。また、自分がいつその状況に置かれるか分からないという危機感から、新しいものを買って楽しく装う気持ちにはならないようで、販売量はかなり落ちこんだ。今月は修理、電池交換があったので、何とか持ちこたえた状態であった。
	一般小売店[花](経営者)	それ以外	・度重なる台風の影響で品薄になり、仕入価格が上昇してきているが、販売価格はあまり上げられないので、利益は減少している。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・気温が高めに推移した影響もあり、主力のコート、ジャケットが前年を大幅に下回る状況である。それに伴って、コーディネートアイテムのスカーツ、パンツも苦戦し、厳しい状況が続いている。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・台風や新潟県中越地震といった不安定な要素が消費者の心理に大きく影響を及ぼしている。また気温が一般的に高く、冬物衣料品の動きは悪い。高額品の動きも、一点物や入手困難な商品には人気が集まるが、いわゆる価格訴求をセールスポイントとした商品の動きは悪い。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・昨年は在阪球団の優勝の関係もあり、好調に推移したが、今年はその反動もあり厳しい。
	スーパー(開発担当)	それ以外	・原油価格の高騰、台風による田畑への被害、新潟県中越地震による災害などで、各部門の卸売価格が高騰している。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・これまでの台風は、夜間に接近するケースが多かったのでそれほど大きな影響はなかったが、今回の台風23号は日中の2日間に渡る大雨となり、通常より3割から4割の売上ダウンとなった。その後も全国的に水害や新潟県中越地震などの暗いニュースが続き、ハロウィーン関連グッズの売上もあまり伸びなかった。
	衣料品専門店(総務担当)	販売量の動き	・消費税が総額表示に移行してから、小売業界は税込価格3,045円を、税込価格2,900円に求めるなどの圧力が高まり、納入業者は消費税分5%の負担に耐えかねている。
	一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・販売量が前年に比べて減少している。3か月前から、各月ともに上旬は前年並みであるが、中旬、下旬は前年割れとなっている。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き

		旅行代理店（店長）	来客数の動き	・度重なる台風と新潟県中越地震で国内需要が激減している。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・台風23号、新潟県中越地震、イラクでの日本人殺害などで、消費マインドが下がっている。
		旅行代理店（広報担当）	それ以外	・今年は次々と大型台風が上陸し、それも沖縄をスタートに日本列島を縦断したことで、全国的に影響を及ぼし、次々とツアー中止に伴う旅行キャンセルが相次いだ。また台風に加えて大きな新潟県中越地震が起こるなど、被害の大きかった地域の人たちは旅行どころではなく、当社にとっては二重のマイナス要因が重なった。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量が落ちたので、値下げを行った。秋の新商品を待つ買い控えとも考えられるが、実態は分からない。
		ゴルフ場（経営者）	競争相手の様子	・安い価格での競争や、サービスを充実する同業者がますます増えてきている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新規企画等を打ち出して単価は上がってきているが、今月は天候に左右されて特に悪かった。
悪くなっている		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月の中旬、下旬に直撃した台風の影響で、交通機関の乱れや営業時間の短縮などがあり、来客数が大幅に減少したほか、新潟県中越地震の心理的打撃による購買意欲の低下がみられた。また、気温が平年より高めで推移した中旬から中旬にかけて、例年動きがある防寒衣料のコートアイテムが動かず、客単価も前年の80～90%と厳しい状況であった。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・今月中旬から気温が下がり気味で、長袖、羽織物が売れ出したものの、本格的に動くところまで行かないうちに、台風でまた一段と落ち込んだため、急遽売出しを行ったが回復がみられない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・会社の縮小や統合等で近隣ビルの空室が目立つようになり、周辺の人口が減少している。今月は夕方に台風が数回来たため、早く仕事を切り上げての帰宅が多く、夜間の客が減少した。
		その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・昨年と比べると日曜日が1日多いにもかかわらず、来客数が減っている。また、客が買う商品が変化している。冬に向けて売れるダイヤモンドなどの製品が売れず、地金製品が圧倒的に売れるという傾向が顕著になってきた。
		その他専門店【医薬品】（販売担当）	それ以外	・取引のある会社の閉鎖に伴い、店舗を閉店した。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・相次ぐ台風の影響で、隣接県の一部の市町村でも被害を被るなど、レジャー、行楽等に出向くゆとりがないように感じられる。また、来客数もかなり落ち込んでいる。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・日本海側で旅館を経営しているが、10月の行楽シーズンでありながら、あまり動きの良くないところに、度重なる台風の影響でキャンセルが続いている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は13,780円と、7月の21,637円よりも下落したほか、南大阪地域一帯が秋祭りの時期であったことと、台風等の天候不順の影響で客足が伸びず、売上額も最低記録を更新した。
企業動向関連	良くなっている	その他非製造業【民間放送】（従業員）	受注量や販売量の動き	・テレビCMの需要は高水準を維持している。
	やや良くなっている	出版・印刷・同関連産業（情報企画担当）	受注量や販売量の動き	・10月に入ってから、年末セールの広告、カレンダー、年賀状の受注時期であり、11月から12月の納品のための定期刊行物の作業で忙しい毎日である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・設備投資に関する見積照会が増えている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・荷主からの依頼が多く、車の数が不足しているため、新規の荷主は断っている。
		金融業（支店長）	受注価格や販売価格の動き	・鉄鋼溶断メーカーでは、材料は今年に入って上がったが、内部努力によって収益は確保されている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・一部の元気のある企業で広告出稿が増えてきている。

変わらない	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・台風、新潟県中越地震と大きな被害が出ている地域があるが、当社の取引先も被害を受けている。また、家庭用商品の落ち込みが激しいが、業務用商品が伸びていることでカバーしている。
	一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・現在も3か月超の受注残がある。
	電気機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・製品の能率アップを図るために投資するのはもちろんであるが、ここにきて品質向上のための投資が増え続けている。
	電気機械器具製造業 (宣伝担当)	受注量や販売量の動き	・依然として液晶テレビなどのAV関連商品が好調に推移しており、全体を引っ張っているため、電化製品などの商品も比較的順調な荷動きを示している。
	その他製造業 [事務用品] (営業担当)	受注量や販売量の動き	・商品の受注量が激減しており、供給先でも商品を消化できていないので、生産量が増加しない。
	その他製造業 [履物](団体役員)	受注量や販売量の動き	・この業界では、業況が天候に左右されるケースが多くあるが、今月は毎週土曜日になると雨が降ったり、新潟県中越地震もあって、消費が上向きにならない。
	建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・同業他社の倒産が続いている。仕事量は以前より増えてきているが、厳しい価格競争は変わらない。
	輸送業(営業所長)	受注量や販売量の動き	・例年、関西国際空港での輸入貨物の取扱量が9月頃から年末まで増えていたのだが、今年の10月は9月を少し下回っている。
	輸送業(総務担当)	取引先の様子	・大手企業の工場では増産態勢にあり、新規の設備投資を行う動きもあるが、その反面で物流費等のコストダウン要請が厳しく、良くなったという実感がない。
	不動産業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・大阪市内の一等地に限っては、路線価をはるかに上回る価格で土地取引が行われている。しかし、その他の地域では、下げ止まってはいるものの上昇の気配はない。
コピーサービス業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・印刷等の大口受注が増え始めた一方で、小口オーダー等の来客数が減少傾向にある。台風や長雨の影響も、紙を扱うコピー業界にとっては大きなダメージとなった。	
やや悪くなっている	繊維工業(団体職員)	受注量や販売量の動き	・原油価格の高騰により、外注加工費が値上げされたが、その分の価格転嫁が受け入れられる状況ではないので、需要期ではあるが厳しい状況である。
	金属製品製造業 (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・材料である鋼材価格の大幅な高騰により、販売価格の値上げを行っているが、仕入価格の上げ幅に販売価格が追いつかず、利益が出なくなっている。また、販売価格の値上げにより、受注量が目に見えて激減している。
	輸送業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・大手荷主による売上の計画比が20%減になっている。昨年のように12月に向けての住宅取得優遇制度に関する需要がない。また、台風や新潟県中越地震の関係で運行ダイヤの乱れがあり、住宅部材の滞留数も増加の傾向である。一般荷主については、引き合いは多いが、いまだスポット便の単価が安く、取引が成立しない。
	金融業(営業担当)	取引先の様子	・一戸建ての契約戸数が減少してきている。要因は一部の優良な建売用地がミニパブル化しており、用地購入が難しくなっていることと、中堅の建売業者が倒産したことにより、消費者の警戒感が出ていることなどである。また美容院の数も減少しているなど、店舗需要も伸び悩んできている。
悪くなっている	-	-	-
雇用関連	新聞社[求人広告] (担当者)	求人数の動き	・求人広告を出す会社が増えてきている。長く求人を探していた会社も新聞に掲載するようになってきた。
	民間職業紹介機関 (職員)	求人数の動き	・相次ぐ台風や、新潟県中越地震の災害復旧工事に伴う日雇い求人が出始めた。緊急避難所であるホームレス用シェルターに並ぶ毎日の行列も、定員の6割にまで減っている。
やや良くなっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・顧客企業からの求人件数は、わずかながら増加傾向にあるが、ミスマッチが相変わらず多数発生しており、企業の求めるスキルが高くなってきている。

	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・アルバイト、パートの求人が好調に推移している。特に製造業の請負業で、自動車、電機、電子、流通を中心に求人数が増えている。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・最近6か月連続で事業主都合の離職者が減少しており、特に今月は前年比で42%減と大幅に減少していることや、新規求人倍率も数年ぶりに2倍を超えたことから、順調に推移している。
	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・中小企業は依然として採用活動を継続している。追加求人件数も昨年の1.5倍と順調に増えている。今年には特に製造業の好調もあり、機械、電気系の追加求人情報が非常に多いが、学生を紹介できず、企業の期待にこたえられていない。文系においても、近畿圏からの追加求人だけでなく、首都圏や愛知県本社からの求人情報も目立つ。
変わらない	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・パートを含む新規求人数は、7月が2,895人、8月が3,533人、9月が3,457人と増加傾向にあるが、雇用形態別にみると期間工、契約社員などが多く、特に臨時雇用の求人は、7月が117人、8月が100人、9月が198人と増加している。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-